



新年を迎えて

浜松市長

中野祐介氏



新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」が開催され、2500万人を超える来場者でにぎわいました。このように多くの皆様が

訪れた万博で、「音楽の都・浜松」コンサートの開催等を通じ、浜松市の魅力やポテンシャルの高さを発信できたことは、浜松市への誘客や興味・関心の高まりに繋がったと考

えていきます。

また、昨年は、天竜川・浜名湖地域の12市町村が合併して20年を迎える節目の年でもありました。7月の合併20周年記念式典を皮切りに様々なイベントが開催され、11月にはメインイベントとして「わがまちHAMAMATSU 20祭」を行い、市内外の皆様に本市の魅力を再認識していました。だく機会となりました。

さて、今年は、2034年

度までを計画期間とする総合計画基本計画の2年目の年となります。

計画に定めた政策を引き続き総合的、着実に推進し「まち・ひと・しごと」の創生を進めてまいります。

分野ごとに、まず「産業経済」の分野では、国際的な経済交流を強化し、地域企業の海外展開や外国人材の活躍を促進します。また、中心市街地活性化に向けた民間投資などの促進により、まちのにぎわい創出を進めます。

「子ども・教育」の分野では、ライフステージに応じた切れ目のない支援により少子化対策を推進します。また、休日部活動の地域展開は、こどもたちがスポーツや文化芸術に親しむ機会を確保できるよう、地域の実情等に応じて推進していきます。

「安全・安心・快適」の分野では、国土強靭化に資する災害に強い道路ネットワーク機能の強化や流域治水に引き続き取り組みます。また、浜松城公園などの魅力向上に向けた取組を推進します。

「環境・くらし」の分野では、市民と一緒に家庭ごみの減量化、資源化に取り組みます。

組みます。また、中山間地域における生徒の教育機会の確保や教育環境の整備を進めます。

「健康・福祉」の分野では、年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、市民が多様なスポーツに触れる機会の創出を取り組みます。また、文化芸術施設等の改修・更新などを計画的に実施します。

「地方自治」の分野では、公共施設等総合管理計画に基づき、部局を横断した公共施設の見直しや統廃合・複合化を検討します。

浜松市でも進行する少子化や、若者の首都圏への流出を食い止め、人口減少局面を転換する事は容易ではありません。この大きな課題には、行政、市民、地域企業など、市全体で一丸となつて取り組む事が重要であり、そのためには、市民の皆様の声をしっかりと聴き、市政に活かすとともに、行政の取組について皆様と共に感じていただく事が要です。

本年もオール浜松で「元気なまち・浜松」を実現していきたいと考えていますので、市政に対するご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。